

【さんすう】

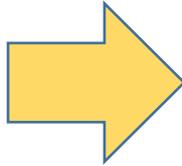
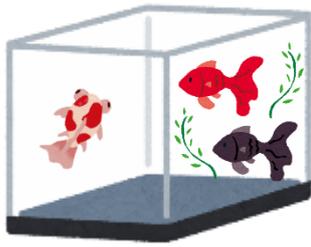
「※」はべんきょうするときの せんせいからの あとばいす アドバイスです。

<べんきょうすること>

◆「ぜんぶでいくつ」（きょうかしよ 43～45 ページ）

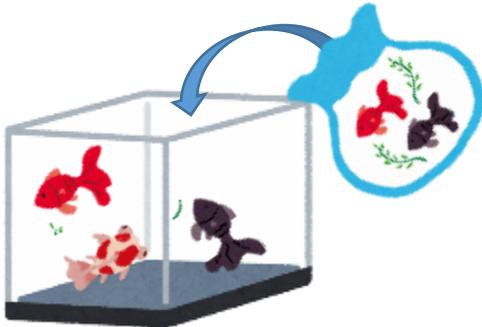
ふえるといくつになるかな？
おはなしの とおりに ぶろっく ブロックをおいて うごかしてみよう

(1) すいそうに きんぎょが、 3びきいます。

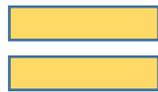
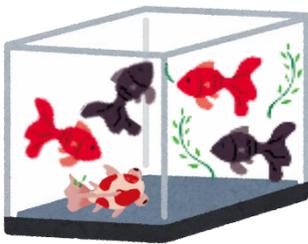


※わくのなかに ブロックをおきます。

(2) きんぎょが 2ひきふえました。



(3) ぜんぶで ひきになりました。



おはなしに あわせて
ブロックを うごかすことが できるかな？

3あって 2ふえると、 5になります。
これを さんすうのことば であらわすと…

しき $3 + 2 = 5$

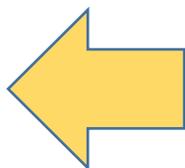
さんすうのことば

こたえ 5 ひき

えをみて たしざんの しきに かきましょう。

はじめにドーナッツが6こ

ドーナッツを2こもらうと



$$\square + \square = \square$$

<じぶんで たしざんの しきになる おはなしを かんがえて
ノートやとりくみシートにかいてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆いくつといくつ（教科書 P43～45）

- ・この課題から、たし算の学習になります。たし算の学習では、式を立てる際に、ブロックやおはじき等、他のものに置き換えて考えたり、問題場面を「式」で表したりすることを学びます。
- ・おはなしを「式」で簡単に表すことができるということを、ぜひ感じさせたい場面です。算数の学習では、1年生から、事柄や関係を簡潔に表すという式の働きを学んでいくこととなります。